

令和4年度 租税教育に関する研究発表要綱

山元町立山下第二小学校

教諭 高橋 丈喜

1 研究主題

税に関する関心を高め、「まちづくり」にいかそうとする児童の育成

～「未来の山元町」について調べ、意見交流する学習を通して～

2 主題設定の理由

本校では、総合的な学習の時間で行う防災教育の一環で、5年生時に「中浜小学校震災遺構」の見学、6年生時に「地域交流センター」の見学と「未来のまちづくり」についての学習を行っている。「まちづくり」を行う町政において欠かせないのが税に関する知識であるが、6年生の税に関する知識は、歴史の中で学習した「租・調・庸」や「年貢」、「地租改正」等がほとんどである。

そこで、「未来のまちづくり」を考える中で、未来の納税者を育てるために、町政と税がどのように関わっているかを友達と考えを共有することで、「税は必要なものである」という考え方をもちせられると思い、本単元を設定した。

3 研究の目標

児童一人一人が、税に関する課題を自ら設定し、調べる活動を通して、税に関する意義や役割と「まちづくり」を結びつけていくことで、未来の望ましい納税者につながるような指導の在り方を探る。

4 研究の方法

- (1) 税の学習の導入として、租税教室を行う。
- (2) 地域交流センターを見学し、山元町の被害を知ると共に「未来のまちづくり」についての構想を練る。
- (3) 山元町の課題についてインターネットや本を使って調べ、自分なりに解決する。(1回目)
- (4) 1回目の調べ学習で得た「まちづくり」の仕組みと「税」がどのように関わっているかについて考えたことをまとめる。(2回目)
- (5) 自分が調べたことを学級全体で発表し、考えを共有する。また、身近に税が使われていることを知る。
- (6) これまで学習したことをタブレットPCのアプリ「ロイロノート」でレポートにまとめる。

5 研究の計画

令和3年	6月	租税教室（講師 鈴木建設社長 鈴木様）
	10月	地域交流センター見学
	11月	授業実践（総合的な学習の時間）
	2月	実践（総合的な学習の時間） 研究のまとめ
令和4年	6月	研究発表会

6 研究の概要

(1) 学習計画（総合的な学習の時間 13時間）

次	主な学習活動	時数
1	・租税教室（講師 鈴木建設社長 鈴木様）	1
	・地域交流センター見学	2
2	・地域交流センター見学を受けての感想や自分で調べてみたいと思ったことを基に「山元町の課題」を自分で設定する。	1
	・調べ学習を行い、自分の課題を解決し、「まちづくり」と「税」がどのように関わっているかを考え、課題を設定する。【調べ学習1】	2
	・役場の職員の方からのお話や「山元町総合基本計画」を基に調べ学習を行い、税に関して分かったことをまとめる。【調べ学習2】	4
	・調べたことを発表し、考えを共有する。また、身近な税の使われ方について知る。	1
3	・これまで学習したことをレポートにまとめる。	2
	・発表会をする。	1

(2) 実践の概要

【第1次】租税教室（令和3年6月2日）

講師 鈴木建設社長 鈴木様

内容 ・VTR教材「マリンとヤマト 不思議な日曜日」
・税金と役割の大切さについて

暮らしの中での税金の使われ方について税に関しては、初めての学習であった。VTRを見たり、講師の先生の話の聞いたりして、基本的な知識を得ることができた。とても集中して学習しており、児童にとって興味がある内容だったようである。



【第2次】地域交流センター見学（令和3年10月22日）

内容 ・施設の概要説明や設備の紹介

・震災における山元町の被害説明

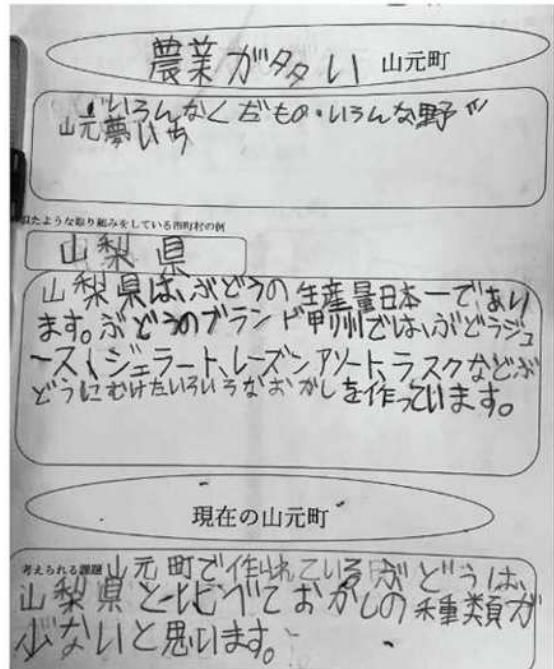
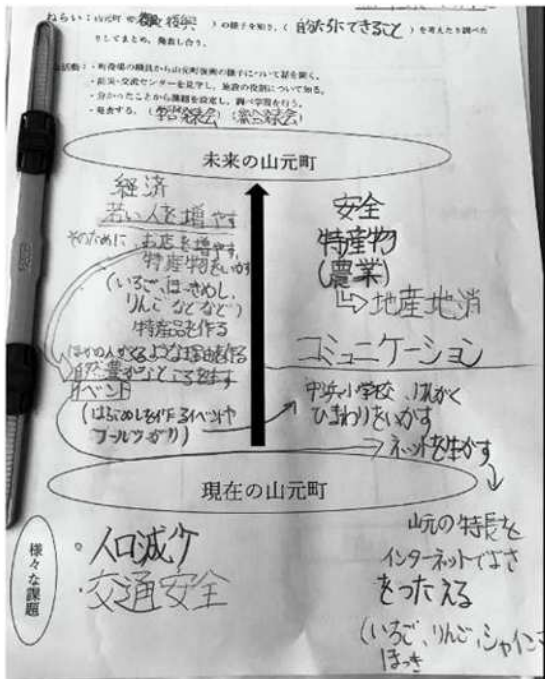
児童にとって身近な施設である「防災・交流センター」の意義を改めて知ることができた。「山元町防災拠点・山下地域交流センター」という名称からも、本施設が有事の際に避難の拠点となるために備蓄倉庫や災害用トイレ、自家発電設備など様々な防災機能を有していることが分かった。



【第3次】

①防災・交流センター見学を受けての感想や自分で調べてみたいと思ったことを基に「山元町の課題」を自分で設定した。国語科で学習した「バッグキャスティング法」を使って、理想の山元町を目指す上で必要な事柄について考えるように指導した。

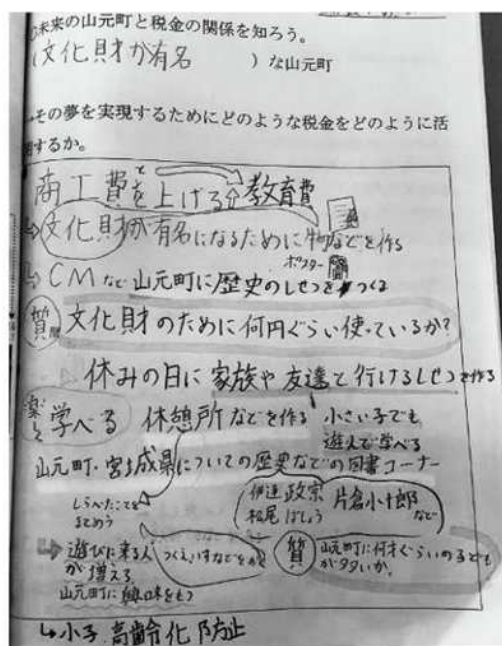
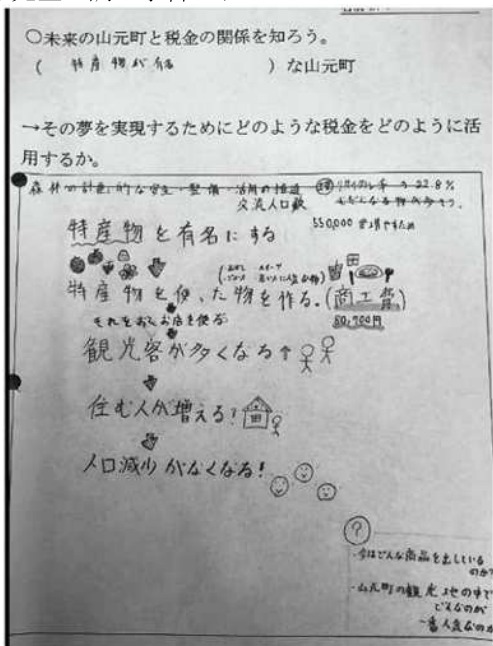
○児童の課題づくりより



②調べ学習1

自分で立てた課題についての調べ学習を行った。「小学校社会科用学習資料 わたしたちの暮らしと税金」等の資料を読んだり「富山県租税教育推進協議会」などのホームページを利用して調べたりする児童が多かった。

○児童の調べ学習より



③調べ学習 2

・山元町役場の職員の方へ送った質問状の回答と「山元町総合基本計画」を基に調べ学習を行い、「まちづくり」と「税」に関して分かったことをまとめた。【調べ学習 2】

○児童の調べ学習より

○発表の構成を考えよう。

1. タイトル: **税金と山元町の教育について**

2. 設定理由:
 ① 山元町の平均的な学力が低い。運動能力が低い。授業の内容がよく分かる。小3.2% → 中3.8%
 小3.2% → 中3.8%
 ② 小.20~30%ほどに下がっている中3.70~20%分が低いように見える。

3. 税金と未来の山元町との関わり
 教育費に占める割合は16.7%
 ・山元町は子育て世代の増加と団体の活動に力を入れている。
 ・成長の速い教育費は5%
 ・ICTの活用
 ・教育費の削減
 ・子育て支援の整備

4. 未来への提案 **教育の革新**
 指導者を増やし専門と専攻科研修を充実させて17歳から2人の先生と指導者向上のためICTを活用。家でのオンライン授業（小3.2%）
 ・環境と自然教育を活用し、スノーシュー体験などを提供する。
 ・山元町では、子育て世代のデジタルリテラシーを向上させていく。

5. まとめ (感想)
 税金と教育に活用されていることを調べたことで未来の山元町に必要なのかが分かった。
 税金を利用して学力向上、運動能力向上を目指すことが必要だと分かった。

○発表の構成を考えよう。

1. タイトル: **税金と山元町の特産物**

2. 設定理由:
 ① 交流人口数 550,000人で少ないが5日連続で20,000人、20,000人
 ② 交流人口を増やすために特産物で有名な交流人口を増やす。

3. 税金と未来の山元町との関わり
 前工業 50,000円 → 特産物を作るための（交流人口）増やして
 ① 前工業 防犯・農家の支援 60% 使われている。(約 529万円) (20,000円) (約 500円)
 ② 交流人口を増やして、交流人口を増やすために特産物を作るための商品を出す。

4. 未来への提案
 特産物を使って、土産物を出し（人気な物は、はや、という物）
 店を増やす。
 ・ほかにも今後伸びる特産物を出し（おわり）。

5. まとめ (感想)
 前工業は特産物とつながりだけでなく、防犯や農家支援にも使われていることが分かった。これにより、これから未来に向けてお店が増えていくようにしていきたいと思いました。

○発表の構成を考えよう。

1. タイトル: **税金と未来の山元町の観光**

2. 設定理由:
 今の山元町はそのすごい観光の場所はあまり無いので、これは地域の物を生かした観光の場所があればいいと思うので取り上げました。

3. 税金と未来の山元町との関わり
 観光対策のための費用 商工費が使われている。
 商工費... 海外との観光交流を拡大する。
 国際競争力が高いみかがある観光地アトリを支援する。

4. 未来への提案
 山元町はこれから、地域の物を生かした観光の場所を増やし、観光地がより豊かになる町になっていくと思います。

5. まとめ (感想)
 山元町をより豊かにするために、地域を生かした観光地を作る必要です。そのため、税金を観光地に使えば山元町がより豊かになると思います。

○発表の構成を考えよう。

1. タイトル: **持続可能な環境な山元町**

2. 設定理由:
 産業革命後、自然環境が壊れていくのを防ぐために、自然環境を守ることが必要だと考えました。自然環境を守ることが、持続可能な環境を実現するために必要だと考えました。

3. 税金と未来の山元町との関わり
 環境税 → 空き地への植樹、再生可能エネルギーの導入、エコカーの普及
 取り入れ、低炭素の特色とした暖房・冷房

4. 未来への提案
 ・エコカーの取り入れ → 車の値段の30%を補助金を出す。
 ・太陽光パネルの取り入れの推進
 ・リサイクルの推進 ① スーパーへ入るだけでなく、ゴミを入れるリサイクルする機械を設置。

5. まとめ (感想)
 宮城県はSDGs未来都市へ選定されています。環境面での町づくりが遅れている。だから環境にやさしい町づくりを加速させるためにエコカーや再生可能エネルギーの導入を行い、産業革命より環境が豊かな山元町になってほしいと思います。

④情報の共有

・各自が調べたことを全体で発表することで、考えを共有する場面を設けた。自分が調べたことだけでなく、友達の調べたことを知ることで、さらに税に関する知識を広げ、まとめに生かせるようにした。

【第3次】

①レポートにまとめる

これまで調べたことや情報を共有したことをもとに、レポートにまとめた。今回の調べ学習でわかったこと、学習を通して税に関して思ったことや考えたことをまとめるようにした。



②発表会

電子黒板に自分のレポートを表示させ、1年間のまとめとして一人一人がプレゼンテーションを行った。各自がタブレットで友達の発表に対して感想を投稿する形で発表会を行った。友達の学習の成果を見たことを含めての学習感想は次の通りである。

感想①

教育や観光のために様々な税金が使われていることが分かりました。山元町をもっと発展させるために、山元町の良いところをたくさん他の市町村に伝えていきたいです。

感想②

今までよく分からなかった税金が、自分の生活にたくさん使われていることを知っておどろきました。特に山元町ではICTの機械がたくさん使えるようになったので、教育費はとても大切なんだと思いました。

感想③

友達の発表を聞いて、自分がまだ知らなかった観光や環境対策にも税金が使われていることが分かりました。税金は私たちの生活に欠かせないものなので、大人になったらしっかり税金を納めようと思いました。

感想④

山元町が震災からここまで復興したのも、税金で様々な復興支援が行われたからだということを知りました。まだ地震や台風など様々な災害があるかもしれないので、これからは防災対策をしっかりしていきたいです。

7 研究の成果と課題

(1) 成果

- ・学習の導入で「租税教室」を行い、「まちづくり」と「税金」を関連させて学習させたことで、児童が「税金」を身近なものとして捉えることができ、調べてみたいという意欲をもつことができた。
- ・調べ学習を2回行ったり、友達の調べたことなどの情報を共有したりすることで、より税に関する内容を深めることができた。
- ・税は、国民の生活に深くかかわるものであることや必要なものなのでみんなで負担することなどの考えを身に付けることができた。

(2) 課題

- ・今年度発表校ということで、総合的な学習の時間に10時間位置付けて学習を進めたが、租税教育の学習を充実させるために今後どのように年間指導計画に位置付けていくのか考えていく必要がある。
- ・小学生にとって、納税はまだ現実的なものではない。これから年齢が上がるにつれ納税者に近づいていくので中学、高校とどのように租税教育をつないでいくのか、どう連携を取っていくのが大切であると思った。

税に関する関心を高め、
「まちづくり」にいかそうとする児童の育成
～「未来の山元町」について調べ、意見交流する学習を通して～



校舎
山元町立山下第二小学校

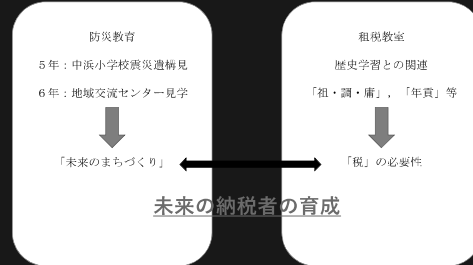


伝統 山二小輪太鼓
教諭 高橋 丈喜

主題設定の理由

総合的な学習の時間

租税教育



研究の目標

児童一人一人が、税に関する課題を自ら設定し、調べる活動を通して、税に関する意義や役割と「まちづくり」を結びつけていくことで、未来の納税者につながるような指導の在り方を探る。

研究の方法

導入：「租税教室」⇒ 興味・関心

地域交流センター見学⇒ 「未来のまちづくり」の構想を練る。税との関連

課題づくり・調べ学習⇒ 「まちづくり」の仕組みと「税」の関わり

発表会⇒ 全体で考えを共有する。
生活の身近なところにある「税金」の存在を知る。

研究の方法

まとめ⇒ 「未来のまちづくり」についてタブレットの「ロイロノート」で作成

- ・ 調べて分かったこと
- ・ 自分で考えたこと
- ・ 友達から学んだこと
- ・ 将来の自分はどうしたいのか

研究の計画

令和3年

6月 「租税教室」

10月 地域交流センター見学

11月 授業実践
(総合的な学習の時間)

2月 授業実践
研究のまとめ

令和4年

6月 研究発表

研究の概要（１）学習計画

次	主な学習活動	時数
1	・租税教室（講師 鈴木建設社長 鈴木さん）	1
	・地域交流センター見学	2
2	・地域交流センター見学を受けての感想や自分で調べてみたいと思ったことを基に「山元町の課題」を自分で設定する。	1
	・調べ学習を行い、自分の課題を解決し、「まちづくり」と「税」がどのように関わっているかを考え、課題を設定する。 【調べ学習１】	2
3	・役場の職員の方からのお話や「山元町総合基本計画」を基に調べ学習を行い、税に関して分かったことをまとめる。 【調べ学習２】	4
	・調べたことを発表し、考えを共有する。また、身近な税の使われ方について知る。	1
3	・これまで学習したことをレポートにまとめる。	2
	・発表会をする。	1

研究の概要（２）実践の概要

【第１次】租税教室

内容 ・VTR教材「マリンとヤマト 不思議な日曜日」
・税金と役割の大切さについて

暮らしの中での税金の使われ方について税に関しては、初めての学習であった。VTRを見たり、講師の先生の話の聞いたりして、基本的な知識を得ることができた。とても集中して学習しており、児童にとって興味がある内容だったようである。



研究の概要（２）実践の概要

【第１次】地域交流センター見学

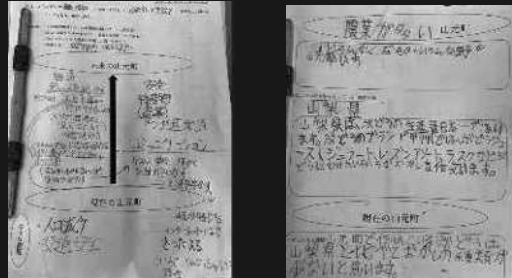
内容 ・施設の概要説明や設備の紹介
・震災における山元町の被害説明

児童にとって身近な施設である「防災・交流センター」の意義を、改めて知ることができた。「山元町防災拠点・山下地域交流センター」という名称からも、本施設が有事の際に避難の拠点となるために備蓄倉庫や災害用トイレ、自家発電設備など様々な防災機能を有していることが分かった。



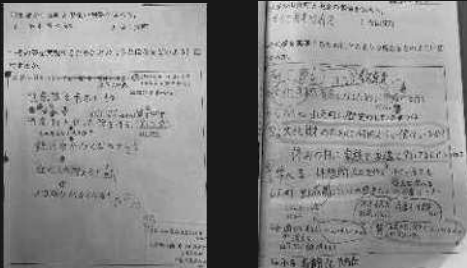
研究の概要（２）実践の概要

【第２次】第１次の実践を踏まえた児童の課題づくり



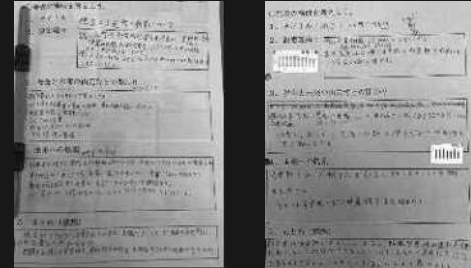
研究の概要（２）実践の概要

【第２次】調べ学習１

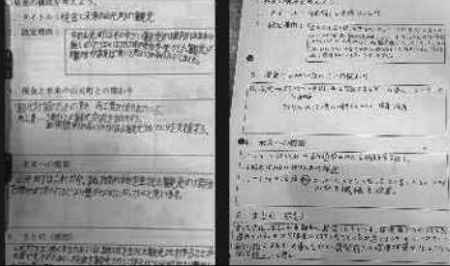


研究の概要（２）実践の概要

【第２次】調べ学習のまとめより①



研究の概要（２）実践の概要
【第２次】調べ学習のまとめより②



研究の概要（２）実践の概要
【第３次】タブレットでまとめる。



研究の概要（２）実践の概要
【第３次】発表会（児童の感想より）

感想①
教育や観光のために様々な税金が使われていることが分かりました。山元町をもっと発展させるために山元町の良いところをたくさん他の市町村に伝えていきたいです。

感想②
今までよく分からなかった税金が、自分の生活にたくさん使われていることを知っておどろきました。特に山元町ではIoTの機械がたくさん使えるようになったので、教育費はとても大切なんと思いました。

感想③
友達の発表を聞いて、自分がまだ知らなかった観光や環境対策にも税金が使われていることが分かりました。税金は私たちの生活に欠かせない物なので、大人になったらしっかり税金を納めようと思いました。

感想④
山元町が震災からここまで復興したのも、税金で様々な復興支援が行われたからだということを知りました。まだ地震や台風など様々な災害があるかもしれないので、これからも防災対策をしっかりしていきたいです。

成果と課題

成 果

- 児童が税の意義や必要性を理解できた。
- 興味・関心が事後の学習につながった。
- ２回の調べ学習で、内容を深めることができた。

課 題

- 年間指導計画への位置づけ
- 小・中・高の連携